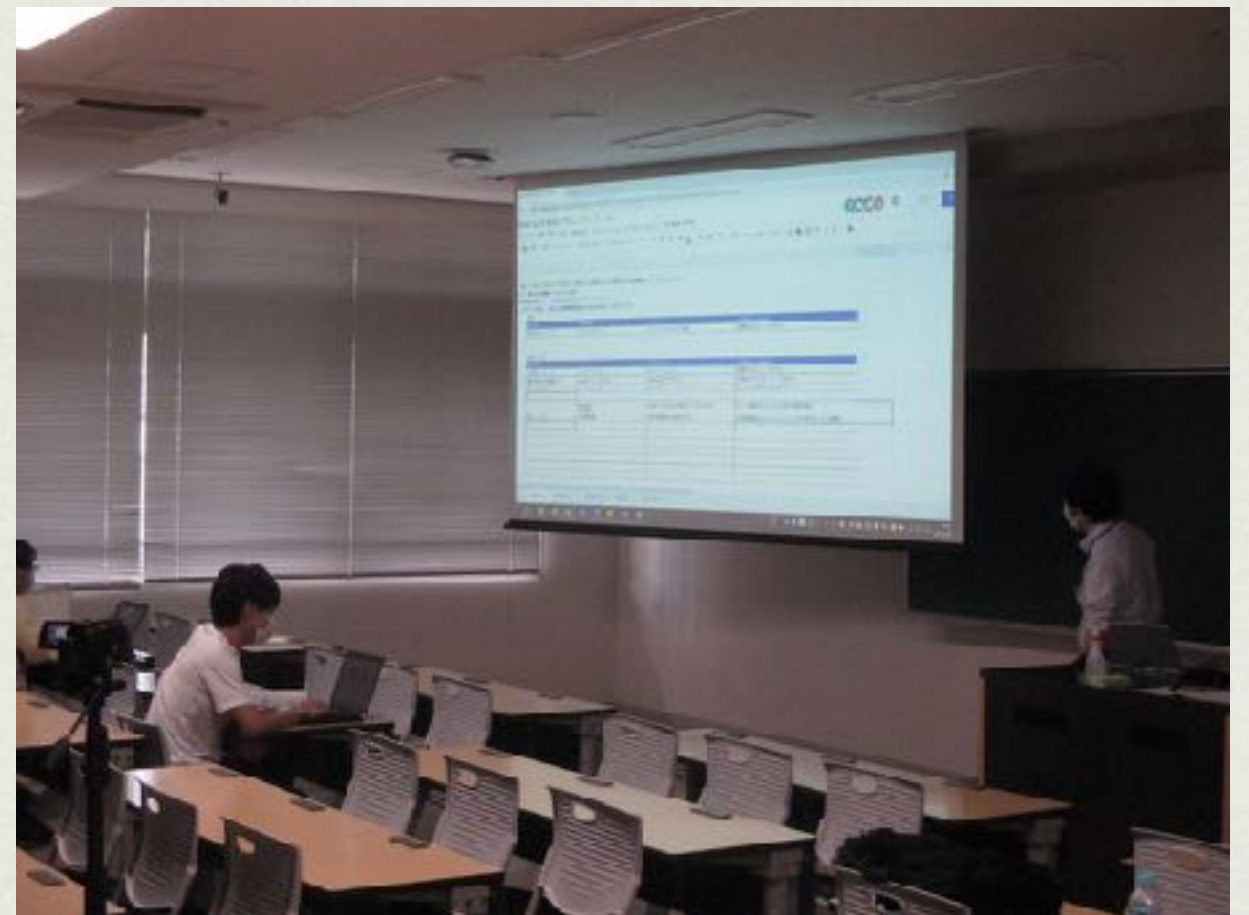


# 高等教育のオンライン化による 恩恵と課題 *2021/2/3(Wed)*

菊池 修(CITP認定番号17000646 / NTTテクノクロス)

# TABLE OF CONTENTS

- SIG紹介
- 昨年度までの取り組み
- 今年度の活動状況
- 得られた恩恵と課題



2020/8/27実施 東京都市大学での授業風景

# SIGの紹介

- 名称：シビックテックSIG  
(旧社会価値創造分科会)
- ITプロフェッショナルによる  
社会貢献
- 取組みを通じた自己研鑽・  
視野拡大



ソフトウェアジャパン2016 ITフォーラムセッション資料より

# 昨年度までの取り組み

2016年度～2018年度

- 2016/4 活動開始

社会価値創造に向けた取り組みを加速するため、CITPコミュニティ内に分科会を設立

2017/10, 2018/11

石巻専修大学にてCITP

シンポジウムを開催



ITフォーラム2020 CITPセッション資料他より

# 昨年度までの取り組み

## 2019年度

- 2019/2より、スピニアウト的に高等教育の授業参画を検討開始  
授業参画にあたりメンバーを追加募集
- SIGメンバーで合宿開催  
シンポジウムと授業で企画・進行のチームを分けて準備
- 10/29 石巻専修大学・情報社会論にて講義を実施
- 2019/11頃より、他大学への展開を模索、打診



2019/10/29 実施 情報社会論の授業風景

# 今年度の活動

## 2020年度

- COVID-19の影響を考慮し、シンポジウムは開催を見合わせ
- 東京都市大学 (8/27 : 対面授業)  
「技術日本語表現技法」の1コマを担当
- 石巻専修大学 (10/20 : 遠隔授業)  
「情報社会論」の1コマを担当
- 横浜国立大学 (10/27, 2021/1/26:遠隔授業)  
「情報社会倫理」の2コマを担当

# 今年度の活動

## ● 情報の正しさ

情報を検索・取得する際の判断基準や、  
発信において考慮すべきことなどのリテ  
ラシーをグループワークにて議論

## ● 情報倫理へのIT企業の取り組み

企業が情報を取得、取り扱う際に遵守べ  
きことや国際間での法制度の差異により  
留意していることなどをディスカッション  
形式にて進行

7. 情報の危うさについて

CITP 認定情報技術者  
Certified IT Professional

発信者と受け取り側それぞれが気をつけること

お互いに考えよう

- 情報を受け取った側は、発信者の意図と異なる受け取り方をすることがあることを認識する

例えば、日本で一般的な水泳着のイルカショーは、海外では動物虐待として扱われる場合もある。

気軽に投稿できることのリスク

- プライバシーと著作権は特に注意
- プライバシー情報はアカウントをハッキングするために利用されることがある

＜情報倫理を考えるワーク＞

- 英国政府が5G通信網の構築から、HUAWEIを排除する方針を決めました。これまでの説明は企業の情報倫理を踏まえ、以下の問いに答え、白紙の意見をもてくだされ。 (時間は3分間です 参考資料：次ページ)

1. IceBrea
2. 情報に
3. Work1:
4. 情報の
5. インター
6. Work2:
7. 情報の
8. IT技術
9. まとめ

1. HUAWEIの5G通信機器に関して「情報倫理」の観点から英国政府が問題にしている点は何ですか。

II. HUAWEIは本社の所在する中国の国内法に資う法制度があるが、その法制度が国外で問題を招いた場合、企業として何に対処すべきか。

III. 英国政府は、一度はHUAWEIへの機器の許可を出していたにもかかわらず、米国の圧力で許可を取り消した。外交官のデモゲームを除いて、英国政府がHUAWEIに対して問題があるとすれば何が問題となるか。

IV. 自らHUAWEIに担当責任者について、本件に対して情報倫理の面を対面できたら英国政府の決定を批判することが出るの観点でいいので述べなさい。

7

教材の一部

(実際に授業で使った資料より抜粋してご紹介)

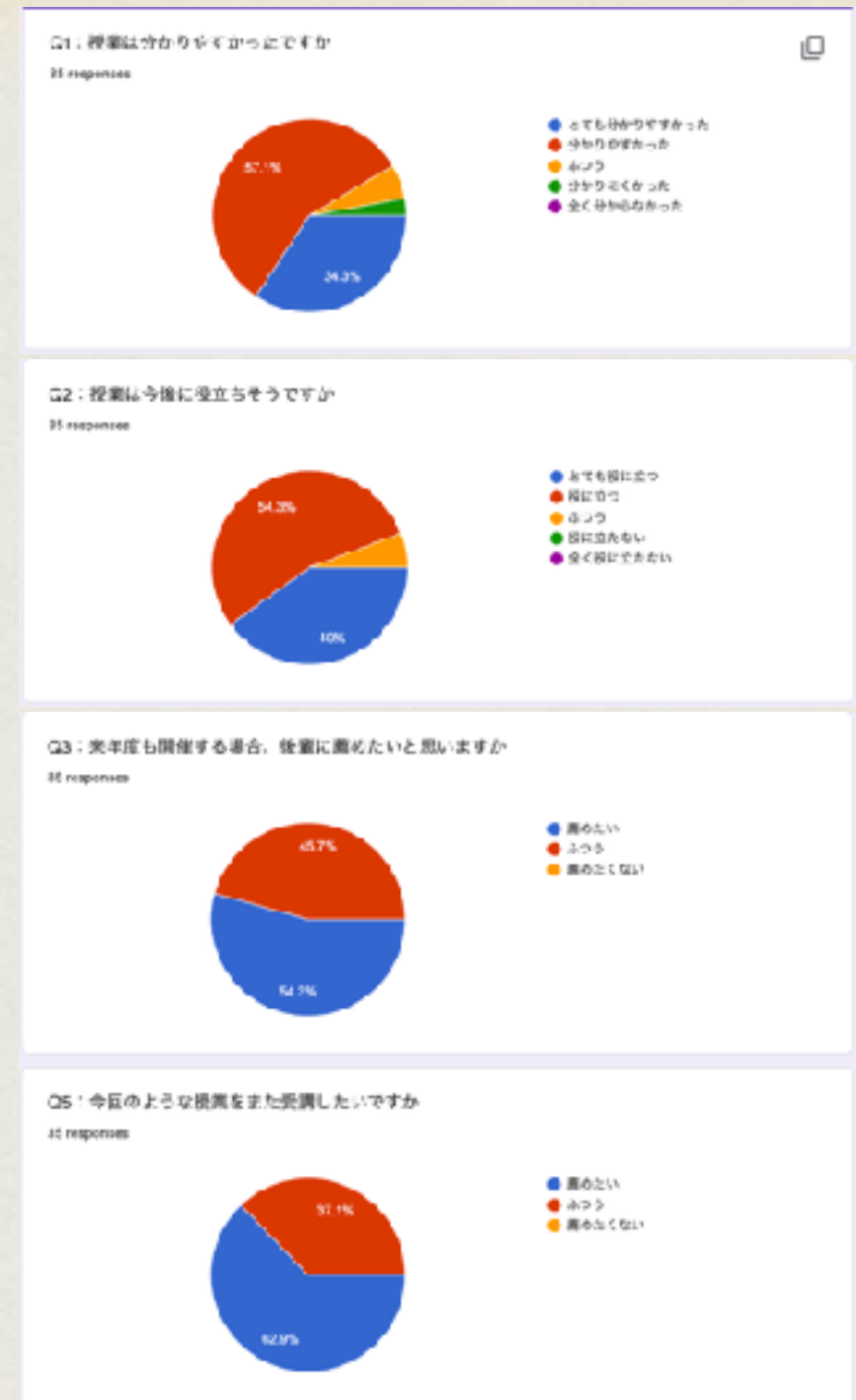
# 得られた恩恵と課題

- オンライン化による恩恵

- 遠隔授業により距離の壁がなくなる
- ホワイトボードからネットワーク上の  
スプレッドシートへシフトし共有がスムーズに

- その他の恩恵

- 大学：講義の多様化  
「実務経験のある教員による授業科目」の充実
- 学生：実社会を感じ取れる機会  
今年度は特に閉塞感からの解放
- CITP：CPD（Continuing Professional Development）の活動  
実績



授業後のアンケート結果より

# 得られた恩恵と課題

- オンライン化による課題

- 対面には敵わない、が改善の余地あり
- 接続やツール類の利用が当日出来ないケースへの対応
- 対面形式との併用も視野に

- その他の課題

- 大学：前後回との整合性調整
- 学生：講義の想定レベルとのギャップ
- CITP：準備に充てられるリソースの不足  
(時間、メンバー)

今年度は実験的・模索的な面もあり

コンテンツ、進行、形式面での改善を継続してSIGにて議論 授業後のアンケート結果より

Q8：今回の「オンライン講義」の手法について、良かった点と改善などがあればご意見をお願いします

16 responses

スプレッドシートがとても良かったです

今回は、Googleスプレッドシートを活用しての授業でしたが、使い方が分からない人もいたので、その点も事前学習に提示しておけばスムーズにいけるのかと思った。

進行がスムーズでよかった

行ったり来たりで分かりにくいと思いました。講師の方も複数名いたので少しやりにくいと思いました。

とてもスムーズに内容が入ってきて、ワークなどで、自分の考え方も見直し、講師の方々のそれぞれの情報の選別方法など貴重なお話を聞くことができ、とても良かったです。

スプレッドシートを使った授業が初めてだったので、他の講義でも取り入れることが出来れば、オンライン講義がもっと良いものになると感じた。

スムーズだと思います

URLを貼っていただきとても入りやすく受けやすかったので良かったです。

Thank you for your attention.

